

令和4年2月7日

きよなん



第141号

議会だより

〒299-2192

千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458

TEL0470-55-4804

発行／鋸南町議会

編集／議会広報特別委員会

思い出のアルバム
「昨年夏の思い出」

きよなんまち

だーいすき

寒中水泳じゃないよ!!

きれいな川で遊ぶのが大好きな兄妹です！12月には町の一斉清掃に参加して川のごみを一生懸命拾ったよ!!

町ホームページにも
本紙を掲載しています
カラーでより鮮明な
画像をご覧になれます



はやわかり

- 令和3年12月定例会・・・2
- 都市交流施設周辺整備事業・・・4
- 4議員が町政を問う・・・5

予算は 50 億円超

庁舎空調の改修など

令和3年12月第6回定例会は、会期を12月14日の一日間とし、集中審議を行った。

今定例会には、安房郡市広域市町村圏事務組合の規約の変更に関する協議、中央公民館改修工事の請負契約、人権擁護委員候補者の推薦の3件と補正予算4件の7議案が上程された。全議案を全員賛成で可決した。

また、一般質問には4議員が、質問席に立った。

補正予算

一般会計補正予算

2億8699万8千円を追加し、総額50億4626万2千円にしよ
うとするもの。各費目にわたる人件
費は、期末手当の引き下げ及び職員
の人事異動等により、総額3155
万4千円の減額となる。

〈主な歳出補正〉

◆ 庁舎空調機器改修工事及び監理

委託 1億6748万3千円

◆ 会議用有線マイクシステム

254万8千円

◆ 高速バスラッピング広告

113万3千円

◆ 老人保護措置費事業委託

332万5千円

◆ デイサービス給湯設備改修工事

219万3千円

◆ 障害福祉サービス費

2058万3千円

◆ 障害者支援国庫返還金

824万1千円

◆ 子育て世帯への臨時特別給付金

3550万円

◆ ワクチン接種委託

1001万5千円

◆ 病院事業継続支援助成金

3000万円

◆ 橋梁補修工事

1250万円

◆ 防災倉庫建築工事及び監理委託

1897万5千円

◆ GIGAスクール環境構築委託

237万6千円

◆ 子ども・子育て支援教育・保育

給付費負担金

127万2千円

(主な歳入補正)

◆ 普通交付税

7625万1千円

◆ 財政調整基金繰入金

9063万8千円

◆ 子育て世帯への臨時特別給付金
事業費補助金

3550万円

【令和3年12月補正予算】

	補正額	補正後の額
一般会計	2億8699万8千円	50億4626万2千円
国民健康保険特別会計	△2万6千円	11億7011万7千円
介護保険特別会計	35万9千円	14億7449万1千円
水道事業会計	△35万円	4億7175万9千円

※水道事業会計については、収益的支出の額

特別会計補正予算

・ 国民健康保険特別会計

一般被保険者療養費の増額、
期末手当の引下げ人件費の減額。

・ 介護保険特別会計

居宅介護福祉用具購入費、職員の
人件費の増額。

・ 水道事業会計

実績に基づく分担金、浄水施設
改修費の増額、期末手当の引下げ
人件費の減額。

補正後一般会計

質疑

問

子育て世帯への臨時特別給付金の10万円

について、国はその支給方法を、各自自治体で選択できるように検討している。現金一括支給の要望が多いが、町の対応は。

答

町の予算編成時には、現金5万円・クーポン5万円でしたが、国からの条件が緩和されれば、出来るだけ早く、手元に現金が届くようにしたいと考えています。（その後、令和3年12月24日に、現金10万円一括支給となった。）

問

庁舎の空調機器改修は、三年間かけ工事をしているが、一括でやったら、いくら位かかるか。

答

改修は、夏冬の空調使用時期を避けた計画で、一括の数字はありません。内容を精査して、コスト削減に努めます。

11月臨時会

11月臨時会は、11月30日、会期を1日として開催し、専決処分2議案、一般職や特別職、会計年度任用職員等の期末手当を削減するための条例の一部改正5件の合わせて7議案が提出され、全議案を可決した。専決処分2議案は、コロナ感染症対策としての検査機器補助金と事業者支援金事業と学校管理用備品、保健福祉総合センター浄化槽補修工事の補正予算。（全員賛成）

期末手当削減関係5議案については、千葉県人事委員会勧告に基づいて、それぞれの期末手当を、令和3年度以降分（会計年度任用職員は令和4年度）について、それぞれ減じる改正を行った。

期末手当を削減する条例の一部改正については、質疑（1件）、討論（反対討論1件）の後、賛成多数で可決した。

		笹生あ	早川	竹田	大塚	青木	笹生久	渡邊	小藤田	鈴木議長	笹生正	平島
期末手当削減条例	特別職	○	○	×	○	○	欠	○	○	-	○	○
	一般職	×	○	×	○	○	欠	○	○	-	○	○
	任期付職員	×	○	×	○	○	欠	○	○	-	○	○
	第1号会計年度任用職員	×	○	×	○	○	欠	○	○	-	○	○
	第2号会計年度任用職員	×	○	×	○	○	欠	○	○	-	○	○

討論

期末手当削減に反対

（笹生あすか議員）

「公務員・労働者の生活を守るべき」

私は、職員の期末手当の引き下げに、反対の立場から討論します。

国民の所得の減少が、消費の停滞、景気の後退を招いています。景気をよくするため、個人消費を増やし、家計の所得を増やすことは重要です。

先日、政府が閣議決定した経済対策にも「賃上げ」の政策があります。この政策にも逆行していると考えます。

町の職員は、一昨年の台風災害から続く、終わりの見えないコロナ禍で、通常業務の他に、様々な業務が重なり、定時に退勤することは困難な状態が続いていると聞いています。

職員の給与や報酬、期末手当の引き下げは、職員の生活設計を狂わせ、モチベーションを低下させます。地方公務員も労働者です。公務員労働者の生活を守る立場からも、国民全体の所得の向上をめざす立場からも、反対とし、討論を終わります。

特集：都市交流施設周辺整備事業

事業プランの変遷、現在の計画を検証



完成イメージ【遠藤克彦建築研究所・アトリエコ設計共同体 提供】

総額9億円にも及ぶ町の大事業、現在の計画の内容は、当初の活用案からは大きく変遷しているが。

町から議会への説明経緯

平成30年7月 議員全員協議会

プール用地の駐車場利用および幼稚園舎の活用方法の検討についての説明。

平成30年12月 議員全員協議会

園舎敷地とプール用地の間の土地の取得と、その一体的利用についての説明。

平成31年3月 定例会

基本計画※策定予算（全員賛成）。

※基本計画Ⅱ保田小学校周辺の未利用公共施設活用の方向性を決める計画

令和元年5月 議員全員協議会

議員全員による現地視察。提示されたイメージ図では、園舎北側農地での体験農業、そこで収穫した作物の調理教室、染め物体験教室など、「交流体験」を強調する内容だった。

ただし、この時点では、基本計画策定業務委託契約は未締結で、基本計画には、委託業者の提案やタウンミーティングの意見等を反映させるとのことだった。

令和2年5月 議員全員協議会

基本計画策定の中間報告。コンセ

プトは、「老若男女が学び、楽しめる新しい施設」。

バス停設置計画が追加。

令和2年8月 議員全員協議会

基本計画策定完了の報告。

コンセプトは、「学びと遊びを創出する場」とする方針とされた。園舎北側農地の取得は農地法の制限等により見送り。

令和3年3月 定例会

事業用地の取得を可決。

また、「基本設計」および「実施設計」の業務委託予算を可決。

令和3年9月 議員全員協議会

基本設計の経過報告。

コンセプトは、「学びと遊びを創出する場」、老若男女問わずわくわくするような施設を目指す。園舎は、遊戯室↓プレイカフェ、職員室↓コワーキングなどに対応した「まちのオフィス」、教室↓飲食や物販スペース、とする。高速バス運行事業者からの申し入れにより館山―東京方面への乗り入れ計画が示された。

令和3年10月 議員全員協議会

基本設計完了の報告。

※詳細は町報きよなん令和3年12月号を参照。



遠藤克彦建築研究所・アトリエコ設計共同体 提供

本事業の展開について

人口が減り続ける当町で、限られた資源の使い道が、将来に向けた町全体の利益にとって最適なのか、という観点から、一般質問や予算審議などを通じ、事業完了まで注視してまいります。

なお、令和3年12月定例会で、渡邊信廣議員が関連する一般質問を行っています。（p7参照）

ここが聞きたい いっぱん質問



大塚昇議員

町の新型コロナ感染者等への支援の状況について



渡邊信廣議員

- ① 都市交流施設周辺整備計画に関わる高速バス乗り入れについて
- ② 農業振興について

4 議員が町政を問う！

竹田和明議員

鋸南町総合計画における前期基本計画（活気あふれる産業のまち）の進捗状況について



笹生あすか議員

- ① 土砂災害対策について
- ② ファミリーサポートセンター事業について



一般質問とは、議員が本会議場で町長・教育長に対し施政方針や事務の執行状況を聞き、疑問点を質(ただ)すものです。紙面の都合上概要を掲載しています。

問

コロナ感染者への支援は

答

県や安房保健所と連携して行います

大塚 昇 議員



今般の新型コロナ対応は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に依拠し、その基本理念では、感染者の人権尊重も定め、その支援が重要である。

感染の状況と現状

問

安房保健所がこれまでに行った町民への検査数、症状区分別実数、町内の感染者数累計、および現在までの感染者数累計等は。

答

保健所での検査は、濃厚接触者のみを対象とし、実績等の公表はしていません。症状区分別実数は千葉県が市町村別に公表しており、感染者数が入院、自宅療養、調整中、ホテル・施設療養、退院に区分されています。町内の感染者数累計は62人、現在入院や療養中の感染者はいません。

	12/23 現在	1/20 現在
入院中	0人	1人
自宅療養	0人	13人
入院調整中等	0人	0人
ホテル療養	0人	0人
施設内療養	0人	0人
退院・その他	62人	62人
感染者数(累計)	62人	76人

令和3年12月23日・令和4年1月20時点の町内の感染者の状況内訳

感染者への支援状況



医療機関へ配備されたPCR検査機器

問

感染者等への支援の状況はどうか。

答

感染者等への支援は、主に県が実施しており、その内容は、入院患者の医療費の公費負担、入院搬送、入院勧告、就業制限、消毒命令、発表、疫学的濃厚接触者の特定、クラスター対策等となっています。あわせて自宅療養者には、パルスオキシメーターの貸出し、毎日の健康観察、入院調整、配食サービス、電話相談を行っています。
新たなオミクロン株に備え、安房4市町は、安房医師会と連携し、引き続き町民への情報発信やワクチン接種の実施等、感染拡大防止に努めます。

ワクチンの追加接種

問

コロナワクチンの3回目追加接種の予定は。

答

政府方針に従い、原則2回目接種後8カ月経過した18才以上の者を対象とし、12月から実施予定で、接種券の発送を開始しています。

問

3回目の接種が遅れる事態も想定されるが、それまでに接種したワクチンの有効期間はどの位なのか、国等からの情報は示されているか。

答

今のところ国からは、接種後の予防免疫効果期間について、感染・重症化リスクが高まるので、希望者は可能な限り速やかな追加接種が望ましいとされています。



パルスオキシメーター

問 バスルートの見直しを

答 現状では見直しは考えていません

渡邊 信廣 議員



都市交流施設周辺整備事業計画、施設内高速バスルートを決めるに当たり、十分な協議・検討が行われたのか。

今年の米価は昨年を大きく下回る9千円台となった。農家の経営がひっ迫する中、支援策等の対応ができているのか。

高速バスルート

問 都市交流施設周辺整備事業計画、

高速バスルートに関し、停留場の位置等バス事業者と代替案を含めて協議するなど、十分な検討を行ったか。

答 停留場設置場所をすこやか駐車場とする案など事業者とも協議を行いました。

問 今の計画ルートは、施設校庭内に深く入り込み運行時間のロスが生じてしまう。また、施設利用者と動線が重なることで子どもや車の接触事故のリスクも高まるのではないか。

答 停留場設置予定場所所は、バス事業者側からの要望でもあり、事業者は運行時間のロスを問題視していません。また安全管理を徹底することで、事故防止に最大限努めます。



将来を見据えた変更ルート案

問 今回の計画では、高速バス利用者に駐車場を利用させることになるが、施設の売上にはつながらず合理的でない。県道に接する校門付近の未利用地であれば、維持管理料を低く抑え、またバス利用客の乗降にも便利だ。見直しの予定はないのか。

答 旧校門の場所は保田小の顔であると同時に、当敷地は県道との高低差が1.7mあることから乗り入れを必要とする場所以外に土留めや様々な用地が必要であるため、検討から外しており、見直しは予定していません。

要望 旧校門を残すことは可能だ。本事業は9億円もの巨額を投じる事業であり、費用対効果や将来のバス需要を見据えた見直しを要望する。

農業振興策

問 安房農協から3市1町に対し、米価下落に対する緊急支援要望書が出されたことが、その対応は行ったか。

答 国の支援策の動向や近隣自治体の支援の状況を見て、検討します。

問 商標登録をした「地すべり米」のブランド化を図るための対策は行っているか。

答 地すべり米の商標登録を行い、多くの方が利用できるようになったことでブランド化が図られたと考えています。一方でブランド化は、一定の食味となるよう基準を統一し、品質管理を厳格にするという考え方もありますが、厳格な基準を設けることで、逆に農家の負担増となる懸念もあり、慎重に判断していく考えです。



地すべり米のラベル

問 産業振興計画の進捗は

答 一部成果も出始めています

竹田 和明 議員



10年間にわたる町の総合計画は、スタートから約9ヶ月が経過した。アフターコロナ対策ともなり得る産業振興計画の進捗は。

商工業振興の取組み

問 新たなビジネスモデルの開発に取組んでいるか。

答 農業用ハウスでのエビの養殖や、耕作放棄地でのウナギの養殖事業への支援等を行っています。

問 新たなビジネスモデルの開発を今後も継続するためには何が必要だと考えるか。

答 商店街の活性化、にぎわい創出に向け、キーマン養成や域学連携事業の活用を図ります。

要望 空き店舗を利用した地域特産品の期間限定販売など、話題性のある取組みを期待する。



商店街をどう活性化するか

観光振興の取組み



サイクリングマップの周遊ルート

問 観光客向け周遊ルート、周遊手段の確立状況は。

答 日本遺産候補地となった鋸山の周遊マップや、サイクリングマップに加え二次交通手段として、eバイクのレンタル事業を開始しています。来訪者の回遊により地域全体が潤うよう、関係者との連携を図ります。

問 館山市で実証実験を開始するスモールモビリティなどの新交通の検討状況は。

答 次世代の二次交通手段として、新たな交通網整備に係る車両を令和6年度に導入する計画ですが、機種等については検討中です。

移住促進策



館山市で実証実験中の車両
(房州日日新聞社提供)

問 若者の移住、地域定着を促すには、地域の仕事や暮らしなどを体験できる機会の提供が重要だ。移住ツアー、おためし暮らし等のイベントの実施状況は。

答 移住支援金や通勤補助等の交付事業を行っています。定住促進等のイベントに関しては、感染拡大防止の観点から、オンラインのみでの開催となりました。

要望 台風災害の経験から、「災害に強い町づくり」をテーマに体験移住を促す等、注目度の高い、話題性のある施策を期待する。

問 土砂災害対策は万全か

答 住民へ「知らせる努力」をします

笹生 あすか 議員

世界中で自然災害が多発している。私たちの暮らしを守るために、土砂災害対策は万全か。その現状と課題を問う。

ファミリーサポートセンター事業（子育て中の労働者や主婦等を会員として、子どもの預かり等の相互援助活動をサポートするもの）の可能性は。



問 現在、土砂災害から住民の生命を守るための体制の整備を進めており、令和3年度には警戒区域を233箇所に拡大し、地域防災計画の改訂を進めています。計画改訂後の新ハザードマップは町内全戸に配布予定です。

答 課題は、有事において迅速な避難行動をいかにして促すか、ということであり、情報を「知らせる努力」をしつつ、同時に住民の「知る努力」を促します。



地すべりとは

土砂災害対策について

問 ファミリーサポートセンター事業について

答 近隣市での事業実施の現状はどうか。

答 当該事業の内容は「子どもを預けたい会員」と「子どもを預かりたい会員」をマッチングさせ、会員相互の援助をサポートするものです。コロナ禍で利用件数は以前の5分の1程度に留まり、相互マッチ

問 農地地すべり対策の現状は。

答 安房農業事務所により、平成26年度に整備事業が完成しており、23の対象地区と22の地元協議会の指定を行っています。

定期巡回に加え、豪雨（総雨量50mm超または連続雨量40mm超）や地震（震度4以上）が発生した場合に、協議会が巡回を行い、もし変状が認められた場合は、町に報告し、県の安房農業事務所が直接現地確認を行う仕組みになっています。そして、大きな変状があれば整備事業の再採択もあり得ます。



わんわんクラブパンフレット

問 町は勝山クリニックとの間で病児・病後児保育の事業契約を締結し、「わんわんクラブ」という名称で、同クリニックが子どもの一時預かりを行うサービスを行っているとのこと。混雑等により保育所での一時保育が利用できない場合に、「わんわんクラブ」での一時預かりの利用は可能か。

答 「わんわんクラブ」についてはご了解の通りであり、利用は可能です。

鋸南町水仙まつりが開催中です!!



観光客がたくさん集まる佐久間ダム親水公園

12月の水仙まつりから4月の花まつりまで鋸南町の自然、花を見ようとたくさんの観光客が来町されます。花は可憐に咲き、はかなく散っていきます。しかしまた来年咲いてくれます。きれいな花が咲き、楽しめるよう町内をきれいにし、未来の子どもたちの為にも鋸南町の自然と環境を守れるように議会も努めてまいります。



もうすぐ水仙から桜へ季節は変わります

表紙の紹介

小保田区にお住いの広瀬そうさん(6)、いちほさん(4)です。兄妹は鋸南町の自然が大好きでいつも外で遊んでいます。「これからもごみひろいがんばるよ!」と元気に笑っていました。お父さんからは、「4年前に移住してきました。鋸南町は首都圏への通勤圏内にもかかわらず、自然が一杯で、子育てにはとてもいい環境だと感じています。」と、お話をいただきました。
〈ゴミ拾いへの参加、ありがとう!皆でごみの無い清らかな町を目指しましょう!〉



議会の日記

- | | | | |
|--------|------------|--------|----------------------------|
| 10月19日 | 議員全員協議会 | 12月21日 | 鋸南地区環境衛生組合定例会 |
| 11月18日 | 議会運営委員会 | 12月22日 | 安房郡市広域市町村圏事務組合議員全員協議会及び定例会 |
| 11月26日 | 議員全員協議会 | 12月27日 | 議会広報特別委員会 |
| 11月30日 | 令和3年第5回臨時会 | 1月5日 | 議会広報特別委員会協議会 |
| 12月7日 | 議会運営委員会 | 1月11日 | 3市1町議会議長会議員研修会 |
| 12月14日 | 令和3年第6回定例会 | | |
| 12月17日 | 消防委員会 | | |

編集後記

令和4年更年、新年を迎え、気持ちを新たにスタートしたいと考えています。本年もよろしくお願ひいたします。

議会では、新型コロナウイルス感染症対策の影響が長く続く中、9月の定例会までは傍聴の制限を行ってきましたが、令和3年11月の臨時議会より、傍聴を再開しました。新型コロナウイルス感染症予防対策はまだ必要ですが、少しでも工夫をして以前の生活を取り戻したいところです。

令和4年1月8日には出初式が9日は成人式が挙行されました。新春を代表する式が行われほっとしているところです。

これからも議会広報特別委員会では、皆様に議会に関心を持ってもらい、親しんでもらえる紙面づくりに取り組んでまいります。

(早川 正也)